

## 踏 み 跡 < My mountains >

那須	弁天温泉スキー	No. 044
----	---------	---------

那須に帰省中の O さんを訪ねて村越君と二人でスキーに行くことになった。  
だが、現実には予想外に厳しかった!!

昭和 40 年 3 月 13 日 (那須は吹雪)

上野発 11 時 54 分の列車でゆっくり出発。黒磯着は 15 時 08 分。

バスで那須湯本に着いたら、もう 15 時 45 分だった。

那須湯本のバス停に着いたが O さんはいない。傍らの伝言板に「弁天へ行く」と書いてあったので大丸温泉行のバスに乗り、弁天温泉入口で下車したときは 16 時 15 分。

弁天温泉に着く頃には猛吹雪であたりは何も見えず、O さんとも会えず。次のバスで湯本まで戻ろうとしたが吹雪のため最終バスが運休になってしまった。

やむを得ず弁天温泉の玄関をくぐり、一夜の宿を願うことになった。

他に客は無く静寂そのもの、大きな風呂は破風から吹き込む雪がちらちら舞い、なかなかの味わい。  
外は猛吹雪、こたつにあたりのんびりと世間話。

昭和 40 年 3 月 14 日 (吹雪)

起床 7 時半、朝食を済ませても吹雪は治まらず。とは言え、このまま帰るのもつまらないので、少し静まったところを見計らって、9 時半頃から滑りに行く。

勿論リフトは運休、時々たたきつけるように吹雪き、足元はアイスバーンで、それでも 3, 4 時間滑っては歩いてを繰り返し、一日を過ごした。

宿のジープで湯本まで送ってもらい、16 時 10 分のバスで黒磯へ。

宿賃は一銭もかからない予定で誘いに乗ったのに、一泊二食付き 1150 円の出費になった。

でもおかげで静かな山のいで湯にひたってのんびりできたのだから、まあよかろうというのが結論。

以上

(修正・更新: 2023 年 10 月)